

令和4年度 重点目標

部署：教務部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>「観点別学習状況の評価」実施</p> <p>「評価規準・評価の基準に基づく各教科の年間計画（シラバス）完成</p> <p>成績表、指導要録のデジタル化</p> <p>教務内規・成績会議資料の改訂</p> <p>業務の効率化から統合型校務支援システムの導入をはかる。</p>	<p>観点別学習状況の評価についての職員会議を実施する（4/1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準/評価基準の周知徹底 ・年間計画作成の打合せ ・教務内規の改訂を周知 <p>各教科からR4年度授業計画回収（4月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間、改良を加えながら完成を進める <p>成績表、指導要録の変更を説明（5月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化に向けての説明 <p>統合型校務支援システムの導入準備（通年）</p>	<p>R4年度から始まる観点別学習について、すべての教科担当が理解し、授業を実践できる。</p> <p>各科目の特性に合わせて作成した内容、評価の基準、評価の方法で成績を処理しすることができる。また成績に関する生徒、保護者からの質問に説明できる状態にある。</p> <p>全教科担当が迅速に新しい成績処理方法を使いこなすことができる。</p> <p>統合型校務支援システムが本校用にカスタマイズできている。</p>	<p>本年度の1年生から観点別学習状況の評価に基づく授業展開ができるよう各教科会議で計画し、令和4年度シラバスを完成した。来年度に向けて改善点は各教科であるものの次年度に繋がる1年となった。</p> <p>新指導要領に合わせた成績表と指導要録に変更し、観点別評価に合わせて評定できるようロジックを完成し、教科担当や担任が活用した。</p> <p>文科省のすすめる校務のデジタル化と学務支援システムの導入に向けて準備が大きく進んだ。</p>
<p>授業の質の向上</p> <p>主体的・対話的で深い学び（iPad活用）</p> <p>考查内容</p> <p>教科担当が授業を研究する（iPad活用…アプリ Zoom メタモジオフィスなどを有効に利用）</p>	<p>教科の特性に合わせた教室内でのアクティブラーニングを実践する（通年）（問題解決・体験・ディスカッションなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容をキャリアと関連 ・教員や他者との対話 ・協働 <p>考查の構成（中間・期末・学年末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎、標準、応用（2.3年） ・知識 技能、思考 判断表現（1年） <p>研修</p> <p>Findアクティブラーナーの視聴（通年）</p> <p>iPadを活用した公開授業、研修会</p>	<p>自ら情報を収集したり、発表するときに情報機器を授業で活用している。また授業で学んだ力を社会・職業にどう生かしていくか考えさせている。</p> <p>テストの構成が生徒の力に合わせてバランスよく構成されている。また問題の趣旨が明確に問題用紙に記されている。</p> <p>視聴記録を入力する。（各学期にチェック）</p> <p>公開授業や研修会に積極的に参加し、技術向上した。</p>	<p>5教科（国・地公・数・理・英）を中心に公開授業を実施した。授業の中で生徒が話し合い情報を収集し、考えをまとめて発表する場面をつくる機会が増えた。</p> <p>iPadの活用も授業の内容に合わせて工夫されている。</p> <p>考查についても観点別に問題が設定されていることはもちろん、何をもって、どの観点の評価をするかが整理された。</p>
<p>キャリア教育の向上</p> <p>キャリア教育の目的を見失わない</p>	<p>担当が日々のHR、授業を通じて行う</p> <p>各学年、学期に1回キャリアパスポートの作成時間を取り、担当が学級生徒と対話を行う（年3回実施）</p> <p>1年間に一冊作成し、次年度の担任に引き継ぎ、卒業時には生徒に返却し将来につなげる</p>	<p>社会・職業を見据えて進路を具体化し社会的・職業的自立に必要な能力や態度を伸張・深化させた。さらに記録を残すことで過去・現在・未来を一元化する。</p> <p>高等学校で学ぶ意義を実感させ、豊かな高校生活を送らせた。</p>	<p>1.2年生のキャリア教育については進路指導部が主体となって展開し年間5回にわたってキャリアパスポートを作成し、卒業後の進路につなげた。</p> <p>3年生については各学期ごとにキャリアパスポート活用して高校生活を振り返り、将来を考えてから卒業させた。</p>

令和 4 年度 重点目標

部署：入試広報部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
(1) 入学者数の目標達成	(1) 学園一体となった広報活動を推進する (2) 地区（市町村区）別に数値目標を定め、常に目標達成を意識した活動を行う (3) 目標の入学者数を達成するために、3つの項目（問合せ者数、OS参加者数、受験率）における目標を達成する活動を行う	(1) 入学者数 335名（今年度276名） (2) 専願者数 300名（今年度240名） (3) 受験者数 650名（今年度489名）	目標に対して、(1)入学者数は△59名、専願者数は△60名、受験者数は△161名といずれも、未達となった。 2年続けて、入学者数が減少していることから、広報のありかたを見直し、目標達成に向けた新たな取り組みを始める必要がある。
(2) 本校へのアクセス数増加（問合せおよびOS参加）	(1) 本校への興味、関心が高まることを意図した広報物（HP、チラシ等）の制作、活用を行う (2) 中学校および塾の先生が、本校を勧めたくなるようなはたらきかけを行う ①本校の教育内容の理解を深め、正しくかつ効果的に伝える ②中学校や塾に対して、本校在校生や卒業生の情報を伝え、信頼関係の構築に努める (3) 問合せ者数増加に向けた施策 ①SNSの発信強化 ・メール、LINE、インスタグラムでの発信頻度および内容を吟味し、タイムリーに発信していく ②地区別チラシの作成 ・地域別にチラシを作成する。強調したいコースや本校への経路等を記載する (4) OS等本校訪問行事の参加者数 ①OSの回数…今年度9回実施から10回実施に変更 ②OS内容の見直し…参加者増に向け、内容を見直す ③新たな学校訪問行事…入試広報部による「学校説明会」を10月と11月に実施する	(1) 問合せ者数 ・1,800名（今年度1,323名） (2) OS参加のべ数 ・1,500名（今年度1,630名）	目標に対して、問合せ者数は△477名で未達、OS参加のべ数は+130名と達成できた。 いずれも前年からは増加した。
(3) 本校への受験率向上	(1) 問合せ者からの受験者数（受験率）にも目標を定め、達成するように努める (2) 面談スキルの向上…特に保護者との個別相談において、以下の項目に留意する ・傾聴と共感 ・不安に感じている事柄に対し、問題解決となる提案を行う ・2回以上来校している方については、前回話した内容を記録し、担当者に引継ぎを行う	(1) 専願受験率（専願受験者数÷問合せ者数） ・20%（今年度17%）	目標に対して△3%、対前年でも△2%となった。 問合せ数の増加と受験率の向上は、目標数達成に不可欠であるため、中学校や塾、保護者に対する説明の仕方等、見直していく。
③ 部内システムの構築	(1) 安定して成果をあげることができる入試広報部にするための土台を築く (2) 中学校訪問および塾訪問における留意点や訪問記録の内容 (3) 中学生データの記録内容、活用事例 (4) 在校生データの利用 (5) 重点訪問期間（11月から12月）の行動内容の精査 (6) 中学校担当と塾担当の情報共有	(1) 左記項目が実行できたかどうかの確認	左記内容については概ね実行できた。

令和4年度 重点目標

部署：進路指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
1. 進路意識を向上させるために、講演会や説明会などを実施し、生徒への働きかけを強化する	①職業別や分野別等の説明会や卒業生講演会を実施する ②進路先の情報を提供する ③進路通信を発行する	説明会などの実施回数	分野別説明会、職業人講話、大学の先生による講演会、進路ガイダンス等、各学年に応じて進路意識につながる取り組みを実施することができた。進路通信を発行したり、課題を出したりと意識強化になるような投げかけもした。
2. 学力向上を図り、進学実績に繋げる	①教務部と連携し、授業を強化する ②担任や教科担当と連携し、チュートリアルでの指導を実施する ③特進コースの受験指導を強化する	①スタディーサポートや進路マップの結果 ②推薦入試や一般入試の受験者・合格者の人数 ③国公立大学・私立難関大学の合格者数	スタディーサポートでは教科の取り組みの成果が見られる。 3年のチュートリアルの生徒はよく努力し、公募推薦入試で良い結果を出すことができた。 3年特進コースの生徒は全員がよく努力し、国公立大学・私立難関大学に進学を決めた。
3. 基礎力を養う	①終礼時に英教国トレーニングを実施する ②模擬面接を実施し、受験に繋げる ③志望理由書や自己PR文の指導をする	①トレーニングにおいて定期的な確認テストの成果 ②模擬面接での成果 ③ガイダンス等の実施回数	トレーニングは継続することで基礎力確認につながっている。 模擬面接は緊張感をもって取り組み、経験を重ねることで強化につながっている。
4. 就職希望者の社会人としての意識を養う	①就職ガイダンスを実施する ②職場見学をさせミスマッチを防ぐ ③3年就職希望者対象に放課後勉強会を実施する	①ガイダンスの実施回数 ②③内定者数	就職希望者はガイダンスを受けたり職場見学に行ったりとミスマッチのないように取り組み、面接などの指導も受けて臨んだ結果、内定をもらうことができた。

令和 4 年度 重点目標

部署：生徒指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
SNS などによるトラブルの防止	学年集会や各HR活動で、具体的事例をあげて生徒に考えさせて指導する。	昨年、SNSなどのトラブル発生件数は4件あったが今年0にする。	学年集会や各HR活動で、具体的事例をあげて生徒に考えさせて指導しているにもかかわらず誤った利用をする生徒がいる。世の中で起こったニュースをタイムリーに生徒に伝え、トラブルの防止に努める。(今年4件)
いじめに対する対応	早期に発見し、いじめ対応に関する学校の体制に基づいて対応して、解決を図る。 いじめに関するアンケートを6月と11月の2回実施する。	いじめの事案が発生した場合、双方納得ゆく解決できたかどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期(6月)に全学年いじめに関するアンケートを実施。いじめを受けた、今も続いていると回答した生徒(5名)から聞き取り、担任・学年主任で対応。その後いじめ対策委員会を開き個々の生徒について検討した。その結果問題なし。 ・2学期(9月)に全学年第2回いじめに関するアンケートを実施。いじめを受けた、今も続いていると回答した生徒(3名)から聞き取り、担任・学年主任で対応。その後いじめ対策委員会を開き個々の生徒について検討した。その結果問題なし。 次年度も年間2回「いじめに関するアンケート」を実施し、いじめの防止に努める。
感染症対策	朝礼時に担任が生徒一人ひとりの健康観察を実施し健康観察表へ記録する。また感染予防として教室換気や共有部のトイレ及び手すり等の消毒作業や昼食時の黙食を徹底し、アルコール消毒液やマスク等の備蓄保管をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時、担任が生徒一人ひとりの健康チェックを行い保健室と体調不良生徒の情報共有をできたか。 ・感染症対策を徹底し生徒及び教職員の罹患を最小限に抑えられたか。 	昼食時の黙食を徹底させるために、担任が教室で指導した。

令和4年度 重点目標

部署：生徒会指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>明華祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. 感染症対策を徹底しながら実施する 2. より完成度の高い作品、公演の制作、発表を通して、充実感、達成感を感じさせる 3. 本校のアイデンティティとなる行事にする</p>	<p>2. 制作、練習が計画通り進んでいるか、進捗状況を度々確認をする 2. クラス、部活動との打合せ等を密にして、1日目の公演の更なる充実を図る 3. 密な打合せ等を通して「全ての参加クラス、部活動が自分の作品の発表だけにとどまらず、2日間の‘明華祭’を制作する」という意識向上を図る</p>	<p>2, 3. 来場者、生徒アンケート結果</p>	<p>3年ぶりの開催で、3年生もはじめての明華祭となった。教員も明華祭を知らない人も少なくなく、感染症対策をしながらの準備となり、完成度が高い作品とは言えない状態であった。来場者、生徒のアンケートも否定的ではないものの例年ほどの好評ではなかった。</p>
<p>体育祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. 感染症対策を徹底しながら実施する 2. 1日楽しくスポーツに親しむことで友人との親睦を図り、連帯感を感じさせる 3. パフォーマンスの発表ではなく、積極的に参加させることに重点を置く</p>	<p>1. 密にならないような種目を中心に実施する 2. クラス対抗、学年対抗の団体競技を通じて団結力を強め、帰属意識、連帯感を感じさせる 3. 運動が苦手な生徒でも楽しく参加できる種目を実施する</p>	<p>1. 生徒アンケート結果 2. 出欠調査</p>	<p>生徒アンケートで好評が95%であった。</p>
<p>行事等を増やす 1. 感染症対策を徹底しながら、実施可能な行事を増やし学校生活の充実を図る 2. 各委員会活動の充実と啓蒙活動</p>	<p>1. 希望者対象の行事を含めて新しい行事を増やし、好評であれば来年度も継続する 2. Koubun Voice等を通じて、日々の清掃の必要性、古紙回収をはじめとする本校のエコ活動の意義、芝のメンテナンス等の緑化活動の意味などを委員会活動を通して生徒、教員に対する啓蒙活動の実施</p>	<p>1. 参加人数、感想等 2. Koubun Voiceの発行数</p>	<p>「ラッピング講習会」や「スノードーム制作体験」などの行事を生徒会の生徒が企画、実施し、好評を得た。季節に応じた内容を記載し、教室に掲示してもらった。発行部数10部</p>
<p>部活動への感染症対策のガイドラインを提示し、徹底を促す</p>	<p>令和3年度に作成した感染症対策のガイドラインと大阪モデル、社会の情勢を鑑みながら、部活動のあり方を示す</p>	<p>各部活動のあり方をチェックし、適宜指導する</p>	<p>政府が行動制限を解除してから、部活動に対する行動制限を廃止した。</p>

令和5年度 好文学園女子高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

教育方針

- ◇ 自立した社会に貢献できる女性の育成
- ◇ 基礎学力の向上と女性としてのマナーと教養の習得
- ◇ 「個性創造」(基礎基本を身に着けたうえで花開く独創性)
- ◇ 「やればできるは魔法の言葉 自分サイズの未来を拓く
チャンスメーカー好文学園」

目指す学校像

生徒自ら学園生活をクリエイトできる在校生にとって楽しく、
卒業生にとって心のふるさととなる学園

2. 中期的目標

- ① 生徒会（諸規定の見直しやイベント企画など）自治の拡充
- ② 「観点別学習状況の評価」に沿った授業展開ならびに定期試験の実施
- ③ 授業や部活動、学校行事を通して「自ら考える」チャンスの積極的提供
- ④ 情報機器の効率使用によるレベルに応じた学力アップの達成
- ⑤ 総合選抜型入試対策として小論文指導の整備拡充
- ⑥ 進学アドバンスコースにおける英検2級取得プロセスの確立
- ⑦ ホームページ、インスタグラムなど SNS を通じた学校情報発信の拡充
- ⑧ 出欠、成績、帳票一元管理システムの導入による業務効率化

以上

令和5年度 重点目標

部署：教務部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>学力アップを図るために授業の質を向上させる</p>	<p>PDCAに基づく授業改善を行う (PLAN) 指導目標の設定 年間指導計画の作成 生徒の実態把握 (DO) 「考えさせる」学習過程の工夫 体験的な学習や問題解決的な学習の工夫 情報機器の効率使用 個に応じた指導の充実 (CHECK) 学習評価の工夫改善 授業評価の実施 授業公開の実施 (ACTION) 成果や課題の分析 指導改善計画の作成</p>	<p>学習評価を指導改善につながるものにする 授業評価による振り返りをする 教科内での交流、学校全体での交流の場を持つなど、知識や経験、課題意識などを共有する機会を増やす 情報機器の活用状況</p>	
<p>観点別学習評価方法を定着させる</p>	<p>単元ごとや授業ごとの評価方法を研究し、考査問題に反映させる ルーブリックを作成し、共通理解の上で正しく評価できるようにする</p>	<p>観点別評価方法の定着状況</p>	
<p>校務支援システムの導入により効率化を図る</p>	<p>円滑な運用ができるよう対応する</p>	<p>きめ細かい指導を実現する</p>	
<p>キャリア教育を推進し、自らの将来について主体的に考える力を養う</p>	<p>日々の授業やHR活動、部活動や学校行事、またキャリアパスポートを通して次の能力を育む ○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力 ○課題対応能力 ○キャリアプランニング能力</p>	<p>キャリアパスポートの活用状況 課外活動などの参加状況</p>	

令和 5 年度 重点目標

部署：入試広報部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 入学者数の目標達成</p> <p>目標を達成するために以下に示す各項目での目標達成を目指す</p>	<p>受験者および入学者の確保については、入試広報部だけでなく、学園全体での取り組みが不可欠である</p> <p>(a) 教育内容 ・生徒の満足度や活動実績、進路、評判等による本校への評価</p> <p>(b) 宣伝広告 ・HPやSNS等のデジタル媒体および紙媒体による本校教育内容の発信およびブランディング</p> <p>(c) 訪問活動 ・中学校や塾への情報提供および信頼関係の構築</p> <p>(d) オープンスクール ・中学生、保護者両方が満足する内容の提供</p> <p>(e) 保護者対応 ・保護者の不安を取り除き、本校への興味、関心を高める</p> <p>(f) 入試条件 ・可否の目安や奨励金制度等</p> <p>上記項目の中で、入試広報部が深くかかわる(c)訪問活動および(e)保護者対応に注力する。また、企画広報が主体となる(b)宣伝広告および(d)オープンスクールについては連携を図り、質の向上を目指す</p>	<p>入学者数 300名 (今年度276名) 専願者数 280名 (今年度240名) 受験者数 550名 (今年度449名)</p>	
<p>(1-1) 本校へのアクセス増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ ・資料請求 ・オープンスクール (OS) ・外部説明会 	<p>本校へのアクセス（問い合わせ、訪問）を増加させるための活動を行う</p> <p>(a) 訪問活動の強化 ・本校の認知のみならず、中学生に勧めたくなるような情報発信を行う。また、本校在校生や卒業生に関する報告や成功した生徒の具体エピソードを伝えることを心がける</p> <p>(b) HPの有効活用 ・単なる情報発信に終わらない、ブランディングを強く意識したHPの改変を行う</p>	<p>問合せ者数 2,000名 (今年度1,833名) OS参加者数 1,600名 (今年度1,346名)</p>	
<p>(1-2) 専願率（受験率）向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専願者数÷問い合わせ総数 ・専願者数÷OS参加者数 ・専願者数÷外部説明会参加者数 ・専願者数÷個別相談参加者数 	<p>各数値に関して現状を分析するとともに対策を行う途中経過として、OSでのアンケートをもとに、専願者および受験者の見込み数を把握していく</p>	<p>専願受験率 20.0% (今年度17.7%)</p>	
<p>(2) 部内システムの構築</p>	<p>継続的に望ましい結果を得るために、個人の力量に頼るだけでなく、入試広報部としてのシステムを構築する</p> <p>(a) 訪問データの作成および分析 (b) 中学生情報の収集および活用 (c) 成功事例の共有化</p>	<p>左記項目が実施できたかどうかの確認</p>	

令和 5 年度 重点目標

部署：進路指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
1, 基礎学力の向上と定着	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部・各教科と連携して、ベネッセ教材での成績向上を図る。 ・終礼トレーニングを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサポート・進路マップでの成績結果 	
2, 進路決定に向けたサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特別進学コースでの組織的指導を継続する。 ・推薦型選抜や総合型選抜での面接対策を行う。 ・チュートリアル制度の運用と活用により幅広い進路実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学と難関私立大学（一般選抜）の合格数 ・推薦型選抜と総合型選抜の合格数 	
3, キャリアサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進学先（大学・短期大学・専門学校・企業・業界等）の研究機会を通して、ミスマッチのない進路選択を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定校等を活用した連携授業や体験会などの実施 	
4, 社会理解の深化と進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を促す機会を設けて、ライフプランニングに繋げることを図る。 ・進路ガイダンスなどを企画して、学問や職業紹介媒体を通して社会への理解を幅広くして、進路希望と決定に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査の回答状況 ・進路決定率 	

令和5年度 重点目標

部署：生徒指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>自立した社会に貢献できる女性を育てる</p> <p>1.基礎学力の向上 2.女性としての教養とマナー</p>	<p>教員の率先垂範</p> <p>集会や日常の学校生活を通じて、生徒に目標を理解させ、行動させる。</p> <p>「挨拶」「礼儀」を身にさせる 「社会人としてのマナー」を身につけさせる 「態度」「身嗜み」に対する意識を高める 「時間」「約束」を厳守させる 「整理・整頓・清潔・清掃」を身につけさせる 「授業への集中」を推進し、基礎学力を高める</p>	<p>教員用振り返りシートを作成し、1年間の取り組みをチェックする。</p> <p>生徒用振り返りシートを作成し、1年間の学校生活をチェックする。</p>	
<p>個別の事情を抱え、登校できない生徒への対応</p>	<p>担任・学年からの報告を受けてケース会議を開き、方針を決定する。場合によっては教務部と連携し、サポート制度の検討も行う。</p>	<p>登校できずに進級の条件を満たさない状況に陥る生徒を救済する。</p>	
<p>いじめに対する対応</p>	<p>早期に発見し、いじめ対応に関する学校の体制に基づいて対応して、解決をはかる。 いじめに関するアンケートを6月と9月の2回実施する。</p>	<p>いじめの事案が発生した場合、いじめ問題対応マニュアルに基づき、双方納得ゆく解決を迅速に行う。</p>	
<p>SNSなどによるトラブルの防止 (前年度4件発生)</p>	<p>学年集会や各HR活動で、具体的事例をあげて生徒に考えさせて指導する。</p>	<p>SNSトラブル発生防止の取り組みを進めるが、発生した場合は迅速に解決する。</p>	
<p>感染症対策</p>	<p>朝礼時に担任が生徒一人ひとりの健康観察を実施し健康観察表へ記録する。また感染予防として校内の衛生環境を整える。</p>	<p>朝礼時、担任が生徒一人ひとりの健康チェックを行い保健室と体調不良生徒の情報共有をする。</p>	

令和 5 年度 重点目標

部署：生徒会指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>明華祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. より完成度の高い作品、公演の制作、発表を通して、充実感、達成感を感じさせる 2. 本校のアイデンティティとなる行事にする</p>	<p>1. 制作、練習が計画通り進んでいるか、進捗状況を度々確認をする 1. クラス、部活動との打合せ等を密にして、1日目の公演の更なる充実を図る 2. 密な打合せ等を通して「全ての参加クラス、部活動が自分の作品の発表だけにとどまらず、2日間の‘明華祭’を制作する」という意識向上を図る</p>	<p>2, 3. 来場者、生徒アンケート結果</p>	
<p>体育祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. 1日楽しくスポーツに親しむことで友人との親睦を図り、連帯感を感じさせる 2. パフォーマンスの発表ではなく、積極的に参加させることに重点を置く</p>	<p>1. クラス対抗、学年対抗の団体競技を通じて団結力を強め、帰属意識、連帯感を感じさせる 2. 運動が苦手な生徒でも楽しく参加できる種目を実施する</p>	<p>1. 生徒アンケート結果 2. 出欠調査</p>	
<p>行事を増やし学校生活の充実を図る 委員会の招集を増やし、生徒が主体的に考える機会を増やす</p>	<p>希望者対象の行事を含めて新しい行事を増やし、好評であれば来年度も継続する Koubun Voice等を通じて、日々の清掃の必要性、古紙回収をはじめとする本校のエコ活動の意義、芝のメンテナンス等の緑化活動の意味などを委員会活動を通して生徒、教員に対する啓蒙活動の実施</p>	<p>1. 参加人数、感想等 2. Koubun Voiceの発行数 2. 委員会の開催数</p>	
<p>部活動のあり方について検討する</p>	<p>部活動の地域活動への移行など、これからの部活動のあり方について検討する</p>		